

作物統計調査

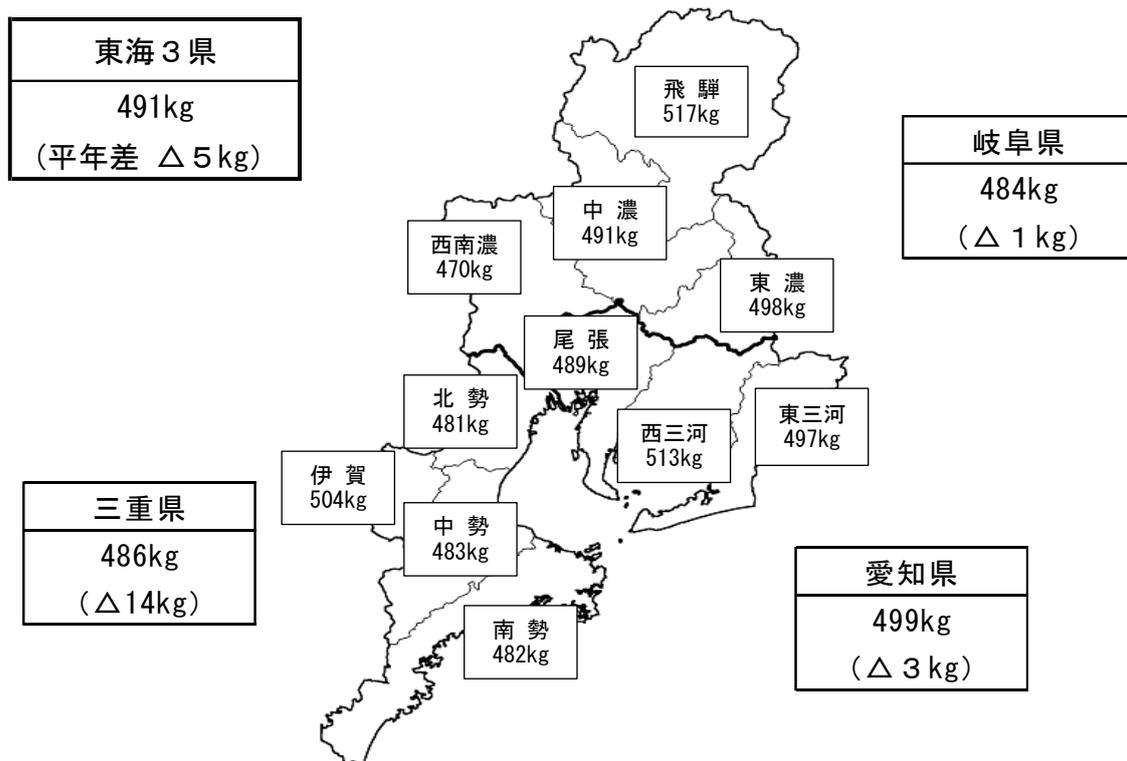
令和6年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

— 10a 当たり予想収量は491kgの見込み —

【調査結果の概要】

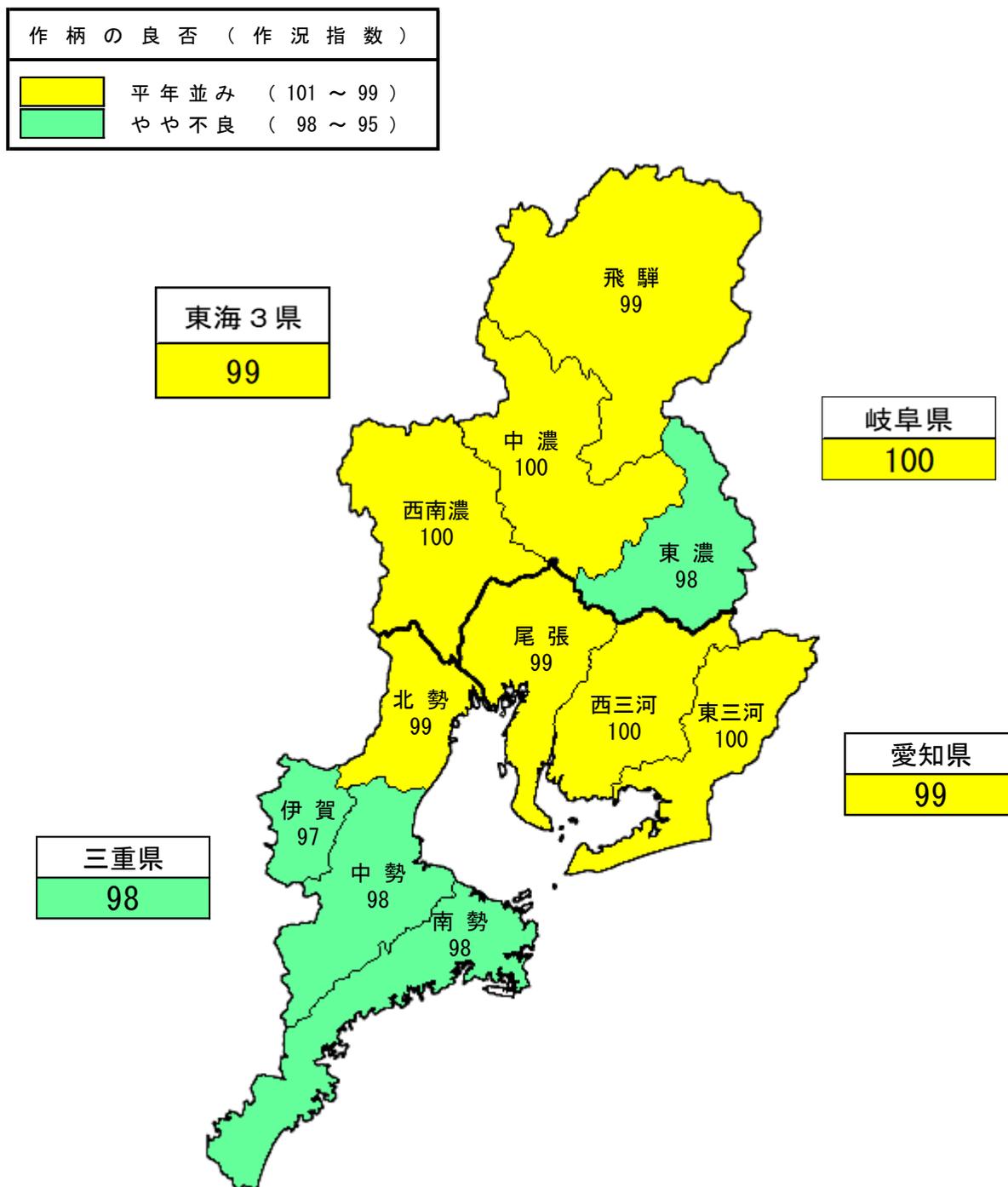
- 1 東海3県（岐阜、愛知及び三重）における令和6年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は7万9,000ha（前年産に比べ1,400ha減少）と見込まれる。うち主食用作付面積は6万9,100ha（前年産に比べ200ha減少）と見込まれる。
- 2 9月25日現在における水稻の10a 当たり予想収量は491kgと見込まれる。
- 3 主食用作付面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は33万8,800t（前年産に比べ200t増加）と見込まれる。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99と見込まれる。

図1 県・作柄表示地帯別10a 当たり予想収量（9月25日現在）
（1.70mmのふるい目幅ベース）



- 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積であり、主食用作付面積とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である（11ページの【参考1】参照）。
- 10a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 10a 当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。
- 東海3県は東海農政局が管轄する地域（静岡県を含まない。）であり、全国農業地域における東海（静岡県を含む。）とは一致しない。

図2 県・作柄表示地帯別作況指数（9月25日現在）
（農家等が使用しているふるい目幅ベース）



注： 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率であり、県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。

◎ 累年データ

水稻（子実用）の年次別推移

1 東海3県

年産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10a 当たり 収	収穫量 (子実用)	主食用 作付面積	収穫量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成27年産	85,100	78,900	492	388,200	77,000	378,800	99
28	84,600	77,500	511	396,300	75,600	386,500	102
29	84,100	76,700	494	379,200	74,900	369,700	99
30	83,800	77,600	493	382,500	75,300	371,200	98
令和元	83,300	77,400	486	375,900	75,000	364,100	97
2	82,800	77,000	480	369,900	74,500	357,900	96
3	82,100	74,300	490	364,300	72,400	355,100	98
4	81,500	72,100	503	362,400	70,300	353,500	101
5	80,400	71,700	489	350,300	69,300	338,600	99
6 (概数值)	79,000	..	491	..	69,100	338,800	99

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下、4まで同じ。）

注：1 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積である（以下、4まで同じ。）。

2 作付面積（子実用）とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である（以下、4まで同じ。）。

3 10a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量（令和6年産は予想）である（以下、4まで同じ。）。

4 主食用作付面積とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（以下、4まで同じ。）。

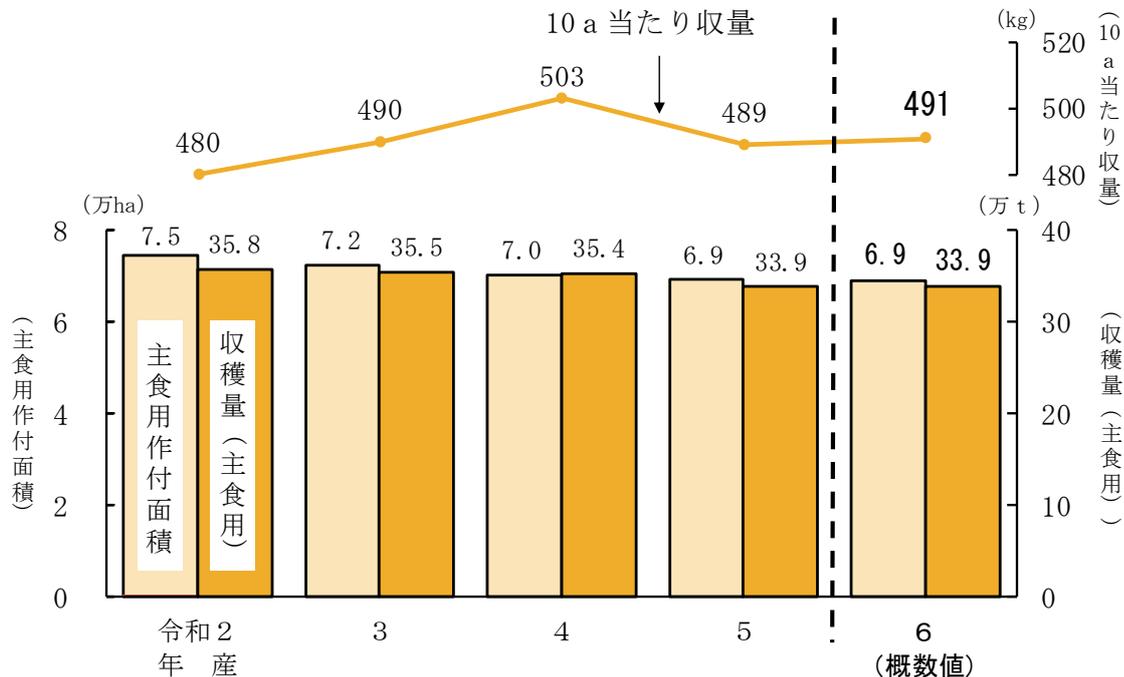
5 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり収量の比率であり、以下により算出している（以下、4まで同じ。）。

平成27年産から令和元年産まで： 全国農業地域ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（東海は1.80mm）で選別された玄米を基に算出。

令和2年産以降： 県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出。

6 「..」は、未発表であることを示している（以下、4まで同じ。）。

水稻の主食用作付面積、10a 当たり収量及び収穫量（主食用）の推移（東海3県）



注：10a 当たり収量及び収穫量は、1.70 mmのふるい目幅で選別された玄米の重量（令和6年産は予想）である。

2 岐阜県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成27年産	25,200	22,500	481	108,200	22,100	106,300	99
28	25,300	22,200	486	107,900	21,700	105,500	100
29	25,200	21,900	488	106,900	21,500	104,900	100
30	25,100	22,500	478	107,600	21,500	102,800	97
令和元	25,100	22,500	482	108,500	21,400	103,100	99
2	25,000	22,500	470	105,800	21,400	100,600	96
3	24,800	21,600	478	103,200	20,700	98,900	98
4	24,600	20,700	487	100,800	20,000	97,400	100
5	24,500	20,700	484	100,200	19,700	95,300	100
6 (概数值)	24,200	..	484	..	19,600	94,900	100

3 愛知県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成27年産	30,000	28,100	503	141,300	27,200	136,800	99
28	29,700	27,700	521	144,300	26,900	140,100	103
29	29,400	27,500	512	140,800	26,600	136,200	101
30	29,200	27,600	499	137,700	26,700	133,200	98
令和元	29,000	27,500	499	137,200	26,600	132,700	98
2	28,900	27,400	490	134,300	26,400	129,400	96
3	28,700	26,400	496	130,900	25,800	128,000	98
4	28,500	25,900	505	130,800	25,200	127,300	100
5	28,000	25,800	480	123,800	24,700	118,600	96
6 (概数值)	27,600	..	499	..	25,000	124,800	99

4 三重県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成27年産	29,900	28,300	490	138,700	27,700	135,700	98
28	29,600	27,600	522	144,100	27,000	140,900	105
29	29,500	27,400	480	131,500	26,800	128,600	95
30	29,400	27,500	499	137,200	27,100	135,200	100
令和元	29,200	27,300	477	130,200	26,900	128,300	95
2	28,900	27,100	479	129,800	26,700	127,900	96
3	28,600	26,300	495	130,200	25,900	128,200	99
4	28,300	25,600	511	130,800	25,200	128,800	102
5	28,000	25,200	501	126,300	24,900	124,700	101
6 (概数值)	27,100	..	486	..	24,500	119,100	98

【調査結果】

1 東海3県

(1) 作付面積

令和6年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は7万9,000ha（前年産に比べ1,400ha減少）と見込まれる。

なお、水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は6万9,100ha（前年産に比べ200ha減少）と見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、岐阜県及び愛知県においては、6月中下旬及び7月中旬の日照不足の影響により分けつが抑制されたためやや少なく、三重県においては平年並みとなった。

1穂当たりもみ数は、岐阜県及び愛知県においては、穂数の減少による補償作用によりやや多く、三重県においては平年並みとなった。

全もみ数は、東海3県ともに平年並みとなった。

登熟は、東海3県ともに平年並みと見込まれる。

9月25日現在における水稲の10a当たり予想収量は491kg（平年に比べ△5kg）と見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99の「平年並み」と見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は33万8,800t（前年産に比べ200t増加）と見込まれる。

表 令和6年産水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり予想収量			主食用 作付面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③=①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較			
		対 差	対 比		対 差	対 差		
	ha	ha	%	kg	kg	kg	ha	t
東 海 3 県	79,000	△ 1,400	98	491	△ 5	2	69,100	338,800
岐 阜 県	24,200	△ 300	99	484	△ 1	0	19,600	94,900
愛 知 県	27,600	△ 400	99	499	△ 3	19	25,000	124,800
三 重 県	27,100	△ 900	97	486	△ 14	△ 15	24,500	119,100

注：1 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積である。

2 10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 10a当たり予想収量の平年との比較は、10a当たり平年収量との比較である。

4 主食用作付面積とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である。

5 予想収穫量（主食用）については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

2 岐阜県

(1) 作付面積

令和6年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は2万4,200ha（前年産に比べ300ha減少）と見込まれる。

なお、主食用作付面積は1万9,600ha（前年産に比べ100ha減少）と見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、6月中下旬の日照不足の影響により分けつが抑制されたことから、やや少なくなった。

1穂当たりもみ数は、穂数の減少による補償作用により、やや多くなった。

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、平年並みとなった。

登熟は、平年並みと見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は484kg（平年に比べ△1kg）と見込まれる。

作柄表示地帯別は、西南濃で470kg（平年に比べ+1kg）、中濃で491kg（同+1kg）、東濃で498kg（同△12kg）、飛騨で517kg（同△4kg）と見込まれる。

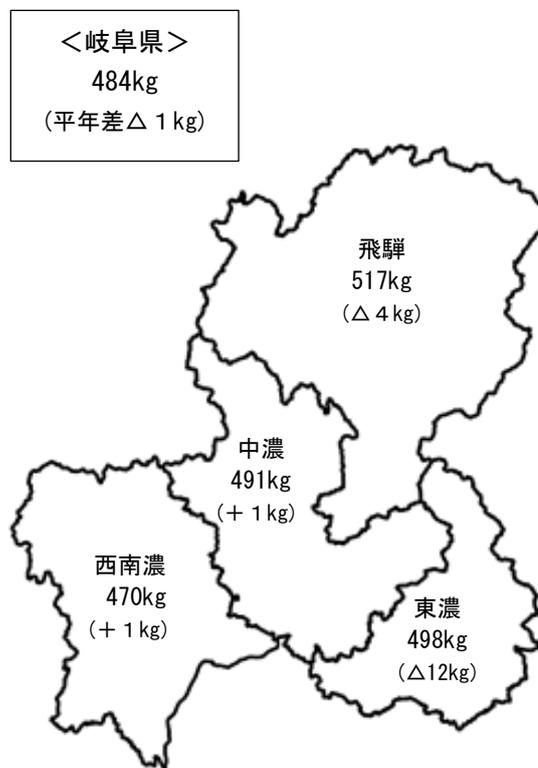
岐阜県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.80mm）の作況指数は100の「平年並み」と見込まれる。

作柄表示地帯別は、西南濃及び中濃で100、飛騨で99の「平年並み」、全もみ数がやや少なくなった東濃で98の「やや不良」と見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は9万4,900t（前年産に比べ400t減少）と見込まれる。

図3 作柄表示地帯別10a当たり予想収量
（9月25日現在）
（1.70mmのふるい目幅ベース）



3 愛知県

(1) 作付面積

令和6年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は2万7,600ha（前年産に比べ400ha減少）と見込まれる。

なお、主食用作付面積は2万5,000ha（前年産に比べ300ha増加）と見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、5月中下旬、6月下旬及び7月中旬の日照不足の影響により分けつが抑制されたことから、やや少なくなった。

1穂当たりもみ数は、穂数の減少による補償作用により、やや多くなった。

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、平年並みとなった。

登熟は、平年並みと見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は499kg（平年に比べ△3kg）と見込まれる。

作柄表示地帯別は、尾張で489kg（平年に比べ△7kg）、西三河で513kg（同+1kg）、東三河で497kg（同±0kg）と見込まれる。

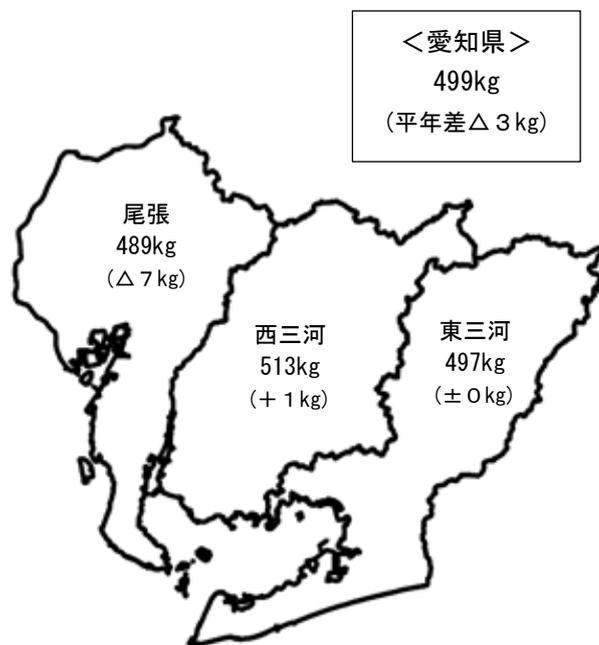
愛知県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は99の「平年並み」と見込まれる。

作柄表示地帯別は、尾張で99、西三河及び東三河で100の「平年並み」と見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は12万4,800t（前年産に比べ6,200t増加）と見込まれる。

図4 作柄表示地帯別10a当たり予想収量
（9月25日現在）
（1.70mmのふるい目幅ベース）



4 三重県

(1) 作付面積

令和6年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は2万7,100ha（前年産に比べ900ha減少）と見込まれる。

なお、主食用作付面積は2万4,500ha（前年産に比べ400ha減少）と見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数及び1穂当たりもみ数は、おおむね天候に恵まれ平年並みとなった。

全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、平年並みとなった。

登熟は、平年並みと見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は486kg（平年に比べ△14kg）と見込まれる。これは、出穂以降の高温の影響により、収量基準未満の玄米が発生し、減収が見込まれるためである。

作柄表示地帯別は、北勢で481kg（平年に比べ△9kg）、中勢で483kg（同△17kg）、南勢で482kg（同△16kg）、伊賀で504kg（同△18kg）と見込まれる。

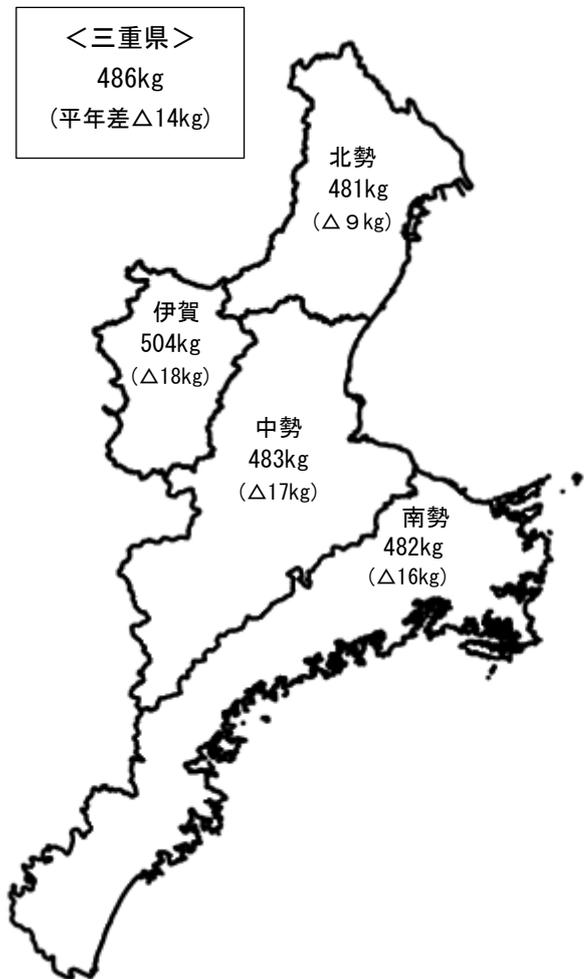
三重県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は98の「やや不良」と見込まれる。

作柄表示地帯別は、北勢で99の「平年並み」、中勢、南勢で98、伊賀で97の「やや不良」と見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は11万9,100t（前年産に比べ5,600t減少）と見込まれる。

図5 作柄表示地帯別10a当たり予想収量
（9月25日現在）
（1.70mmのふるい目幅ベース）



【統計表】

統計表

ページ

令和6年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量…………… 10

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)	
四捨五入する桁数 (下から)	2桁		1桁	四捨五入しない	
例	四捨五入する前 (原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和6年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」（東海農政局）による旨を記載してください。

令和6年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

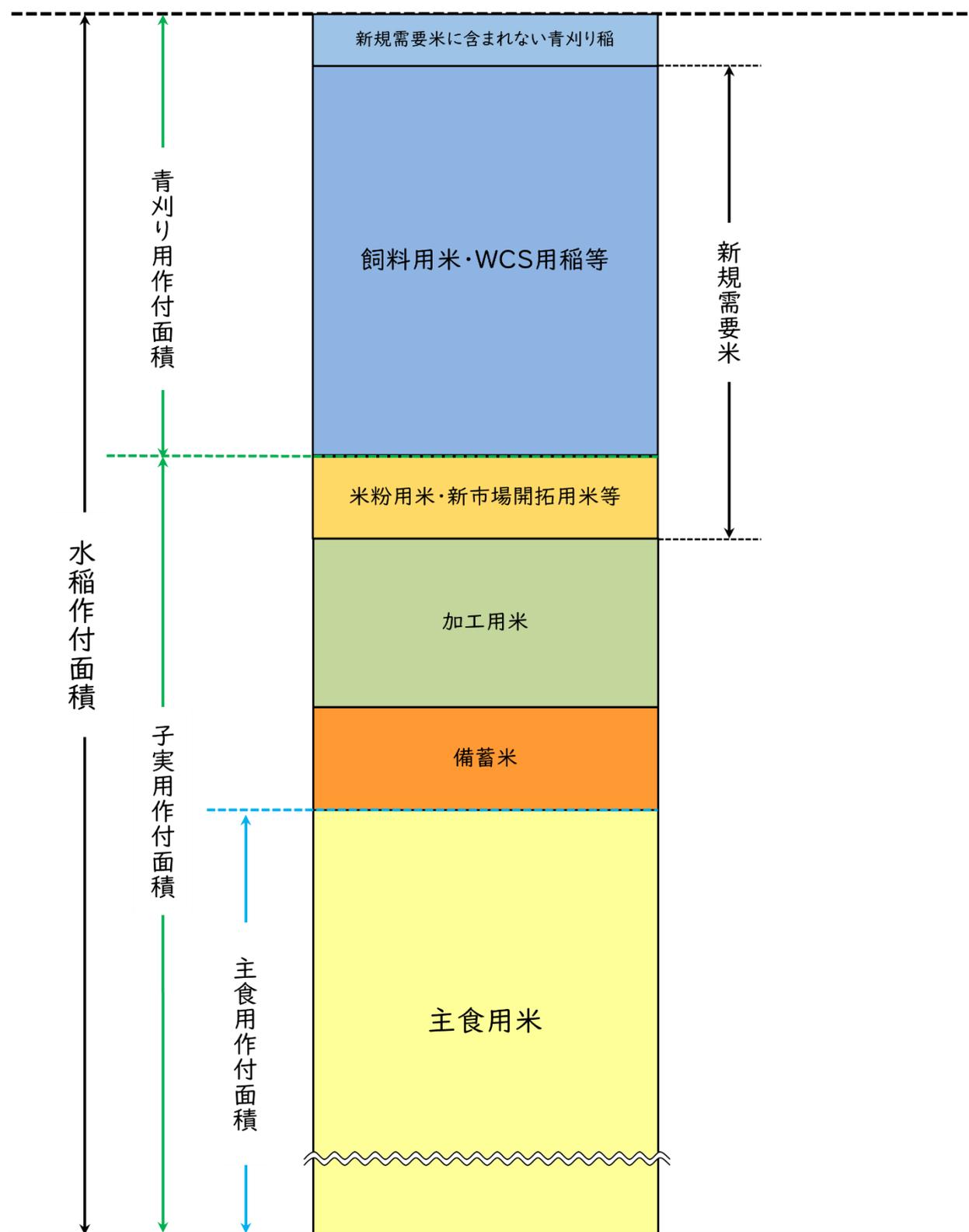
区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり 予想収量 ①	農家等が使用している ふるい目幅で選別 （岐阜県1.80mm、愛知県及び三重県1.85mm）		
	実 数	前 年 産 と の 比 較			10 a 当たり 予想収量 ②	10 a 当たり 平 年 収 量 ③	作 況 指 数 ④ = ② / ③
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	kg	
東海3県	79,000	△ 1,400	98	491	475	479	99
岐阜県	24,200	△ 300	99	484	474	475	100
西南濃	14,400	△ 100	99	470	459	458	100
中濃	3,890	△ 100	97	491	482	481	100
東濃	3,170	△ 30	99	498	489	501	98
飛騨	2,770	△ 30	99	517	507	511	99
愛知県	27,600	△ 400	99	499	481	484	99
尾張	13,600	△ 200	99	489	473	480	99
西三河	9,240	△ 50	99	513	493	492	100
東三河	4,770	△ 120	98	497	480	480	100
三重県	27,100	△ 900	97	486	469	478	98
北勢	8,690	△ 250	97	481	462	466	99
中勢	9,950	△ 250	98	483	466	477	98
南勢	3,860	△ 240	94	482	471	481	98
伊賀	4,620	△ 130	97	504	485	502	97

区 分	主食用 作付面積 ⑤	予想収穫量 （主食用） ⑥ = ① × ⑤	作柄概況（平年比較）			
			穂数の多少	1 穂 当 たり も み 数 の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登熟の良否
	ha	t				
東海3県	69,100	338,800
岐阜県	19,600	94,900	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
西南濃	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
中濃	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
東濃	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
飛騨	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
愛知県	25,000	124,800	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
尾張	平年並み	平年並み	やや少ない	平年並み
西三河	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
東三河	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
三重県	24,500	119,100	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
北勢	やや少ない	平年並み	平年並み	平年並み
中勢	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
南勢	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
伊賀	平年並み	やや多い	平年並み	やや不良

- 注：1 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積である。
 2 10 a 当たり予想収量（①）及び予想収穫量（主食用）（⑥）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 3 10 a 当たり予想収量（②）、10 a 当たり平年収量（③）及び作況指数（④）については、県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
 4 主食用作付面積とは、作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である。
 5 予想収穫量（主食用）については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 6 本表における平年比較の表示区分は、「やや多い（やや良）」が対平年比105～102%、「平年並み」が101～99%、「やや少ない（やや不良）」が98～95%に相当する。

【参考1】

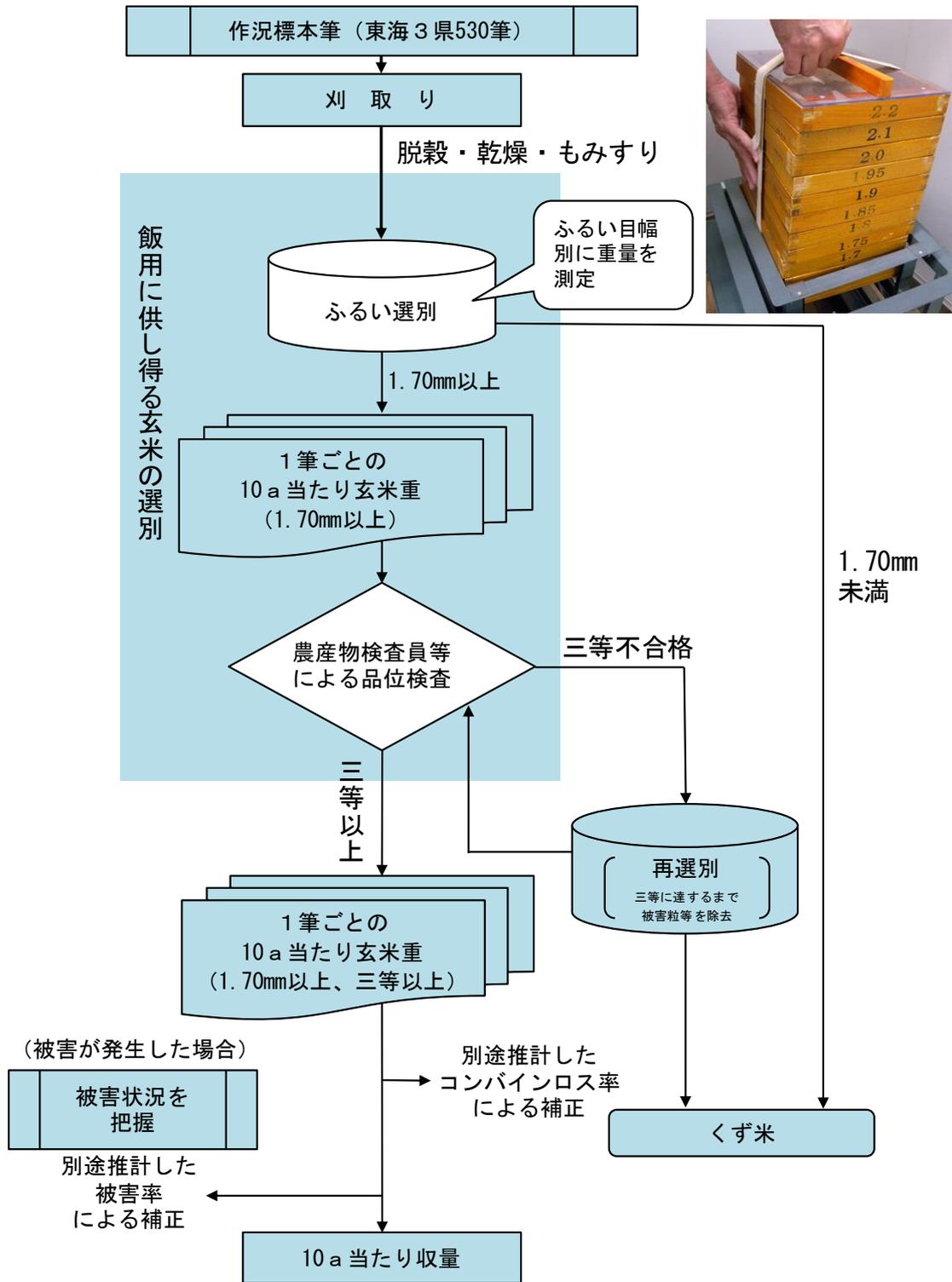
水稻作付面積の概念図



【参考2】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mmで選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考3】

ふで
作況標本筆とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆（ふで）と呼ぶ。）は、各県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（東海3県で530筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



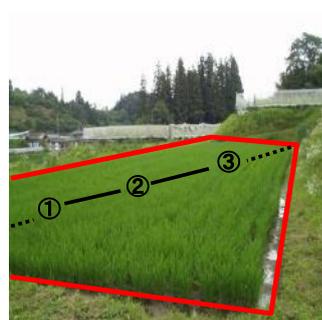
1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（東海3県で530筆）



3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

○ 調査対象数

・作付面積調査

標本単位区数：2,535単位区

・予想収穫量調査

作況標本筆：530筆

○ 作柄表示地帯

東海3県の各作柄表示地帯の包括範囲は、下表のとおり。

区分	地帯名	包 括 市 町 村
岐阜県	西南濃	岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町
	中濃	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
	東濃 飛驒	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市 高山市、飛驒市、下呂市、白川村
愛知県	尾張	名古屋市の一部、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市の一部、弥富市、あま市、長久手市の一部、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
	西三河	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
	東三河	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
三重県	北勢	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
	中勢	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
	南勢	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
	伊賀	名張市、伊賀市

【水稲調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【Webサイト掲載案内】

- ・ この統計調査結果は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」で御覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/schedule/index.html>
- ・ 全国値の詳細は、分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3
- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、Webサイトに掲載（令和7年2

月予定) します。

- ・ 次回(10月25日現在)の公表は、令和6年11月中旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、Webサイトでお知らせします。

【関連リンク】

- ・ 農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>
 - ・ 病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>
- ※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。
- なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。
- ・ 気象庁
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

お問合せ先

◎本統計調査結果について
東海農政局 統計部 生産流通消費統計課
電話：052-763-4732

◎農林水産統計全般について
東海農政局 統計部 統計企画課
電話：052-763-4730



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>

5年に1度の一斉調査
2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)を実施します。

調査期間

令和6年12月中旬～令和7年2月末 農林業経営体調査
令和7年1月中旬～令和7年2月末 農山村地域調査(市区町村調査)
令和7年10月上旬～令和7年12月末 農山村地域調査(農業集落調査)

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いいたします。

また、調査票はオンラインによる回答も可能です。



農林業センサス

農林業センサス 2025

